

事業番号	事務事業名	町有林整備事業費	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04155	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	田後 善史
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等	森林法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町有林整備事業の実施。 ①町有林台帳 ②現地確認 ③設計書作成 ④見積もり提出依頼 ⑤見積受領 ⑥契約締結 ⑦事業実施 ⑧完了届受領 ⑨現地確認検査 ⑩請求書受領 ⑪代金の支払 ⑫台帳整備	町政施行以来、町有林として取得し造林開始(町行造林を含む)

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町有林	ア 施業面積	ha	見込 実績	50 6	50 20	50 8	50	50
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 財産価値を上げる	ア 町有林材積(直営)	m ³	目標 実績 達成率	392,000 391,855 100.0%	392,000 392,314 100.1%	393,000 420,609 107.0%	450,000	481,000 87.4%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 適正な管理	ア 町全体間伐面積	ha	目標 実績 達成率	650 370 56.9%	700 274 39.1%	400 327 81.8%	425	450 72.7%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 04		事業 中事業					事業番号	
	一般会計		農林水産業費		林業費		町有林管理費		02 01 町有林整備事業費						
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	15,908	12,179	5,060	16,985	10,000	-7,119	県支出金	9,842	1,401	6,485	16,985	10,000	5,084		
町債							町債								
その他特財	2,851	1,810	1,410	2,010	2,000	-400	その他特財	6,689	6,932	315	2,010	2,000	-6,617		
一般財源	11,065	20,875	1,868	7,183	7,000	-19,007	一般財源	12,274	20,080		7,183	7,000	-20,080		
合計	29,824	34,864	8,338	26,178	19,000	-26,526	合計(A)	28,805	28,413	6,800	26,178	19,000	-21,613		
財源名称	林業費県補助金 造林事業補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	立木売却収入						延べ業務事務時間	60	60	60	60	60			
							人件費計(千円)(B)	210	201	201	205	205	0		
	最終予算額		8,338 千円		予算執行率	81.5%		トータルコスト(A+B)	29,015	28,614	7,001	26,383	19,205	-21,613	
主な支出事業内容(予算)	委託料					10,060 千円		主な支出事業内容(決算)	委託料					5,364 千円	

事業番号	04155	事務事業名	町有林整備事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	災害防止等森林の持つ公益的機能にも関心が高まる中、林業成長産業化が森林・林業基本計画に明記される等、木材生産とのバランスが求められている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	多面的機能のいずれに重点を置かかを森林毎に精査し、木材生産を行う場合は隣接する森林整備公社等と共同で作業道の開設を行う等コスト削減に努めた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	主要道路に近接した森林では保育間伐等を通じた機能向上を求める声や、受益範囲に含まれる森林所有者は森林作業道の共同整備を求める声がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 当事業を通じ、町有林の公益的機能の向上が図られているとともに、業務発注を通じて林業事業者の技術向上や雇用の確保にも結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町の財産管理であり、収益化が望めない森林も多く、面積の90%を森林が占める当町において、まずは私有林と公有林、それぞれの所有者による適切な管理が必要であり、公費の投入は妥当と思われる。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町有林整備による公益的機能の向上は災害から住民生活や町資産を守るためにも妥当であり、町有林を通じた雇用の確保にも貢献している。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 費用面においては収益を見込めない森林が多数であるため予算上の問題、収益化が見込める森林であっても林業事業者の育成を同時に進めているため現状での目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 林業事業者の育成、町として森林管理の方向性を示すためにも当事業が必須となる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 整備を要する森林に関して補助金を最大限活用しつつ施業を行うためには現在の方法が最適と思われる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業費削減のための集約化や企業との協定による森林整備は既に取り組んでおり今以上の削減は望めない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 施業に関しては民間委託を行っており、森林ICT活用のためには国県補助金の制約もあることから今以上の人件費削減は望めない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 大規模事業発注においては入札方法を含め公平に行っており、制限を課しているものの再委託も認めており小規模事業者の参入機会も確保している。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
<table border="0"> <tr> <td>A 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地あり</td> </tr> </table>	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<p>各多面的機能の発揮に向け、航空レーザ解析等を用いた山地災害危険地区分析によるゾーニングや微地形表現図を基にした災害に強い作業道の開設、利用可能な路網や森林施業、過去施業履歴の森林GISへの集約化等今後も林業の技術革新や国の森林基本計画等に応じた適切な森林管理に努めたい。</p>										
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																					
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>今後の改革改善案</p> <p>事業者の受注能力や予算が限られる中、森林経営管理制度による森林整備も並行し実施する必要が今後あることから、優先順位の判断は適切に行っていくたい。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						